

我々を守る諏訪の動物たち

磯淵 理央

五月十八日、高一の春、私たちは長野県諏訪地方へ合宿に向かった。二泊三日の中で、たくさんのお話を聞いたり、動物たちと触れ合ったり、思い出が作れたと思う。その中でも心に残っているのは、二日目の八島温泉でのインタープリターさんによる、温泉の動物たちの話。驚いたことに、熱心のインタープリターさんは、自分を見つめる動物の視線を感じて感動した。にわかには信じ難い話だ。

お茶の水女子大学附属高校の生徒からの投稿 ③

過去と未来をつなぐ今

福村 遥

八島温泉。そこには過去と未来をつなぐ今がある。私たちは五月、二泊三日の合宿をして長野県諏訪市を訪れた。そこでは日常から離れた様々な経験をさせていただき、仲間とつながることができた。そんな時の中で私が最も感動したのは八島温泉でのハイキングです。

こころとむす空間

團塚 萌那

諏訪に到着してバスから降りると冷たく澄んだ空気が鼻をくすぐった。なんとも言いえないすがすがしいような気持ちになった。二日目におとずれた八島温泉も自然がもたらす時の流れを感じられる素晴らしいものだったが、私が最も印象に残っているのは御田町商店街で感じた人の温かさである。行ったこともない商店街で私たち

諏訪で学んだこと

秋楽 汐里

先日、私は学校行事の学年合宿で、諏訪地方に三日間滞在した。友人たちとの交流も楽しかったが、普段学べないようなことを多く学べたり、美しい自然に触れられたりすることがとても嬉しかった。私にとって最も印象強かったのは、合宿初日に訪れた山田養蜂所の方のお話である。蜂について話す中、畑についての話題になった。「皆さんは、虫食いの穴がない野菜

二つの疑問

塩田 花純

私は、5月10日に御田町商店街を訪ねた。その日の前日、シャッター街であった御田町商店街を救った原さんの話を聞き、疑問に思ったことを商店街でお話を運営している人に尋ねてみた。一つ目は、普段から客の出入りがあり多くない陶器屋やオルゴール屋、なぜうまく店がやっていくのかということでした。しかし、これは考え方によるものであり、店を運営する方は、利益を目的としているのではなく、

諏訪という街・人

福井 優希

私たちは五月に諏訪へ学校行事として宿泊させていただきました。その宿泊の中では諏訪大社巡り、養蜂所見学、富坂製糸場見学、みそ作り体験など、とても貴重な経験をすることができました。そんな中でも、私にとって一番印象深かったのは、下諏訪町の御田町商店街です。この商店街は、以前人通りの少ない、シャッター商店街でした。しかし今は、空き店舗ゼロ

5月にお茶の水女子大学附属高校の生徒たちが学年合宿で諏訪地方を訪ねた。生徒たちから寄せられた投稿を紹介する。